

たよりfromおんがた

発行人

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
恩方育成園 施設長 久保田 美幸
〒192-0154 八王子市下恩方町 2794-1
Tel 042(652)3825 Fax 042(652)3826



「存在」の価値創造～風化させてはいけない！「相模原障害者支援施設殺傷事件」を～

当園の軒下にツバメの巣が数か所、餌を運び入れ親鳥の姿にひなの鳴き声が響き渡り、子育てのにぎやかさと共に、当園においても4月から入職した新職員も先輩や利用者からの学びを通して、日々悩みながらも成長していく姿に感謝とエールを送ります。

ワクチン接種が開始され、新型コロナウイルス感染症の終息に向けて少しずつではあるが真っ暗なトンネルの先によりやく光が見えてきた様に思いたいが、ワクチンの次は有効な治療薬が待たれる。ワクチン接種が進む今も、世の中の人流は増加しリバウンドや第5波の脅威を想定しながらも、感染症と向き合い続けている医療従事者及び福祉従事者を始めとするエッセンシャルワーカーに、「ありがとう」と感謝を贈り、早期終息を心より願います。

夏、7月になると忘れることができない、いや、決して風化させてはならない5年前の7月26日未明に起きた「障害者は生きている価値はない」という思想を背景にあまりにも身勝手に凄惨な事件である「相模原障害者施設殺傷事件」、当時は信じがたい出来事に戸惑いを感じたことを今でも忘れることはできません。

障害者自立支援法に伴い、措置の「保護の客体」から「権利の主体」へと意識変革が行われ、障害のある方の自立と共に「施設運営から法人経営」と支える側の変革も求められるようになり、障害者総合支援法や障害者の権利に関する条約で「意思決定支援」と「合理的配慮」と当事者本人を主体者とするパラダイムシフトが巻き起きている中、「相模原障害者施設殺傷事件」を起因に、当事者の「存在」は人として市民として価値があることの創造が、今、私たちに求められています。

障害者福祉の父である糸賀一雄氏が「福祉の思想」の中で、「この子らはどんな重い障害をもっている、だれととりかえることもできない個性的な自己実現をしているものなのである。人間とうまれて、その人なりの人間となっていくので

ある。その自己実現こそが創造であり、生産である。私たちのねがいは、重症な障害をもったこの子たちも、立派な生産者であるということ、認めあえる社会をつくらうということである。『この子らに世の光を』あててやろうというあわれみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよみがきをかけて輝かそうというのである。『この子らを世の光に』である。この子らが、生まれながらにして持っている人格発達の権利を徹底的に保障せねばならぬということなのである。」と、障害福祉に関わる私たちにとっての具現化の原点です。

現在、我が国においても、障害者の権利に関する条約及び障害者総合支援法において「どこで誰と生活するか」の選択の機会や地域社会において他の人々と共にすることを妨げられないこと」また、国や東京都の障害福祉計画にも「どんなに障害が重くても必要とするサービスを利用しながら、障害者本人が希望する地域で安心して暮らせる社会の実現を目指します。」と基本理念を掲げて、共生社会の実現を目的とした取組が実行されています。

当園では、どんなに重い障害があっても地域で当たり前な普通の暮らしを実現するために、サブミッションを「私たちは、一人ひとりに在る力を活かし、本人らしい人生を実現します。」として「願いを実現する」地域生活支援施設づくりの中長期計画に取組んでおり、今年度も現在までに2名の方が当園より地域生活への移行を実現しています。

彼ら彼女らの「存在」は、「だれととりかえることができない“存在”」であり、様々な可能性を秘めており、その潜在的な可能性を引き出すこと(エンパワーメント)が我々の仕事です。彼らの彼女らの存在によって、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザイン、構造化など、多様性が求められている世の中が、様々なカタチで恩恵の光を受けています。正に、「この子らを世の光に」です。

施設長 久保田 美幸



あさやけ班



活動紹介

今回はあさやけ班（旧ベーカリー班）の取り組みや様子を取り上げることになりました。少しでもあさやけ班の魅力を伝えることができればと思います。

<作業内容>

- ① 利用者さんが朝に食べるパンを作っています。週4回程度で食パンと丸パンを交互に作っています。
- ② 外部への配達・納品を行なっています。八王子の道の駅に週2回程度卸しており、納品時は利用者2名が台車を使って運んだり、陳列棚にパンを並べたりしています。（八王子福祉園でのパン販売も実施していましたが、コロナ禍により一時停止しています）
- ③ 園内パン販売を実施しています。コロナ禍で何かできないかと考え、月に1回パンの日を設けました。美味しいといった声や笑顔が多く見られています。



あさやけ班のふたり



清掃



パン販売

毎回新メニューを出すのでそれを楽しみにしてる利用者さんも多くいます。コロナ禍で上手くいかないこともたくさんありますが、自身の手でパンを買って、それを食べる利用者さんはとても嬉しそうです。

今後もパンで恩方育成園を少しでも盛り上げる事ができればと思います。

担当：船木



WELCOME

新任職員紹介



のぞみ班



山田 翔大

福祉の事は未経験ではありますが、仕事を通して知識を身に付けて支援員として頑張っ
て取り組んでいきます。利用者の方々と日々楽しくやって過ごしていきたいと思
います。何より安全に過ごしてもらいたいのので、利用者の方に頼ってもらえるよう
になっていき全力でサポートしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

つばさ班



松崎 裕平

利用者皆様の生活が豊かなものになる様、私自身支援員としてたくさんの事を学
び、経験し、努力していきたいと思います。利用者皆様一人一人に合った支援が
出来るように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

はやて班



塩野 弘和

豊島区目白生活実習所より異動となりました。重度心身障がい、自閉症の方の支援
を経験しながら、アート活動やグッズ制作を通して利用者のひとつひとつ違った魅
力を地域に発信することで利用者、家族、地域の人、職員の社会参加をサポートし
てきました。恩方育成園の利用者、家族、地域の人、職員が共に幸せであるために
日々の暮らしを支えられるように頑張っていきます。

こまち班



玉田 美香

今までは高齢者施設で働いていました。新しい環境にまだ戸惑いもありますが、新
鮮な気持ちで恩方育成園で楽しい日々を過ごしていきたいと思います。自然豊かな
恵まれた場所で利用者の皆さまの気持ちに寄り添い、先輩職員から多くの事を学
び、成長していけたらと思っていますので、よろしくお願い致します。

ひかり班



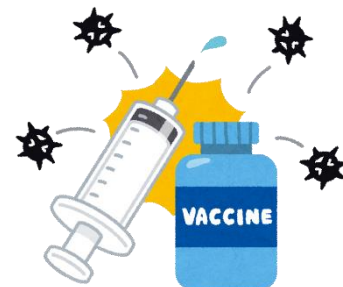
仲井 美織

こんにちは。新人の仲井美織です。大学では心理学を専攻してました。私はとにか
く、良く食べよく寝ます。最近眠気覚ましにヤードムという嗅ぎ薬を買いました。
ミントの清涼感が脳まで突き抜ける感覚で目が覚めるのでおすすめです。福祉とい
う分野に触れるのは実質ここでの仕事が初めてとなります。これから勉強するこ
とが沢山あり、至らぬ点も多いかと存じますが何卒よろしくお願い致します。

新型コロナウイルスワクチン接種、始まる。

当施設では、65歳以上の利用者様、施設職員を対象とし2つのグループに分かれ、6月16日・28日、7月7日・20日、それぞれ2回ずつワクチン接種を行いました。当日は、全4回共に、特に大きな混乱なく2時間程で予定通り終了しました。接種にご尽力して下さった、医療法人永寿会恩方病院の皆さまには改めて感謝を申し上げます。

接種後の副反応に関しては、2回目の接種後、注射した箇所のおもひのほかにも、発熱などの副反応が出た職員がいましたが、利用者様に関しましては発熱などはみられず職員も一安心しております。私自身、接種後は接種箇所のおもひのほか、倦怠感がありましたが、翌日には復調しておりました。ワクチン接種に関しては、世の中に様々な情報が飛び交っております。



私も不安を感じる時期がありましたが、2回目の接種を終えてみて、精神的に余裕がもてるようになったと感じます。接種せずに、万が一自分がコロナウイルスに罹患してしまった際の、自分自身と周りに与える影響を考えると、接種できて良かったと考えております。

その他の方の接種について、八王子市HP上では8月から年齢毎に順次接種できるとの情報が記載されておりました。ワクチンの供給が遅れているとの報道がされている昨今ですが、当施設では8月から順次接種していただく予定となっております。



また、ワクチンを接種したからと言って、新型コロナウイルスに罹患しないという訳ではなく、今後もこれまで通りしっかりと感染対策を行い利用者の方々と一緒に、周りの感染状況を見守っていきたくと考えております。オリンピック開幕となり感染者も増加しておりますが、我々も新型コロナウイルスに負けず、「感染者ゼロの継続」という金メダルの獲得を目指してまいります。

広報委員会 佐藤

**恩方育成園ではスタッフ及び
ボランティアを募集しています！
お気軽にお問合せください♪**

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
障害者支援施設 恩方育成園

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町 2794-1
TEL 042-652-3825 FAX 042-652-3826
URL <http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-ongata/>

採用担当：岡、本田、田代
ボランティア担当：門倉志保

編集後記

今年が始まって、あっという間に半年が過ぎました。今はコロナで緊急事態宣言中ですが、体調管理や感染対策をしっかりと行ない1日1日を利用者さんと楽しく過ごせるように、そして保護者の皆様に安心してもらえるように専念していきたくと思います。

オリンピックが開催し、日本選手が活躍してもっと日本を明るくしてくれることを祈り応援しています。

広報委員会 吉良